

梅村 萌実
UMEMRA Moemi



Hey! Trash can!
段ボール、重さセンサー



Hey ! Trash can !

ストレスや精神的不安要素とは切っても切り離せない、そんな現代社会にどうしたら少しでも安らげることができるかを考えた。

テーマパークなどの広い空間を利用した非現実的な世界ではなく、日常生活のふとした場面で少しでも安らぎを感じてもらいたい。

過去に製作した作品をヒントに日常生活から非現実を感じさせる空間を生み出すにはどうすべきかをテーマに作品を考えた。

考えていく中で、非現実というワードでは人によって価値観や物の見方が変わるため明確な定義がなされないことに気付いた。そこで、悪戯ということに焦点を当てた。この研究でのいたずらとは、サプライズ、ドッキリなどの人が驚くようなこと、楽しめるようなことと定義をして日常生活で、触れているものに悪戯を加えそこで体験者は日常とは違う何かを感じてもらえる作品を制作したいと考えた。

今回の制作で悪戯を加えることにしたのは、みんながよく使い、絶対に身近に存在するゴミ箱だ。

ゴミ箱自体を1人の人間のようにキャラクター化することにした。ゴミ箱を2個作成し、他のゴミ箱と会話したり、いきなり動いたり、ゴミを捨てることによって動き出したり話し出したりする仕組みを取り入れた。これにより、何も考えずに捨てた人がいきなり動き出すことに驚くだろう。そこで驚くのみならず、笑ったりしてプラスな感情になってほしいと考えている。

この作品を通して、落ち込んでいる人もそうでない人もふっと笑える瞬間が訪れ、ちょっとでも気持ちが軽くなってほしい。